

農地水環境保全

活動のしおり

このページは「旭川市農地・水・環境保全向上対策連絡会」の開催行事を中心にお伝えします。

今回は2月16日開催の「連絡会総会」と「事例報告会」の報告です。



景観形成「植栽活動」

- ・今年も東和土地改良区を会場に「連絡会総会」を開催しました。



会場には活動組織と関係団体から八十数名の方達が集まり、世話人会事務局の司会進行に始まり、連絡会会長と来賓からの挨拶を皮切りに肅々と総会が進められました。

正副会長には引き続き平成23年度も役員をお願いすることになり、来年度の事業計画案も承認を受けて新シーズンに向けてのスタートが切られました。

- ・休憩を挟んで後半は事例報告が行われました。



始めに「千代ヶ岡地区資源保全活動グループ」代表から事例報告が有りました。

活動組織立ち上げ時に、活動範囲が旭川市と東神楽町に跨ることになることから、組織としてまとまる活動可能な地区を設定することに苦労したこと、旭川空港が隣接し交通量も多いことから景観活動および清掃に力を入れていることのほか、農道や水路施設の点検・修理といった基礎的活動にも努めているとの報告がありました。

(報告資料：旭川空港保安用地の景観)

2番手「上雨紛地区資源保全活動グループ」からの事例報告です。

地区の概要として、上川水稲発祥之地であり、周辺が山と隣接し豊富な水が確保されやすい反面、大雨による川の氾濫等災害の多い地域であることが述べられた後、水路が山の麓を走っている部分もあり、土砂流入や落ち葉により泥上げ活動が大変であること等の報告がありました。

また、この地区には隣接する地域への抜け道があるため、美化・清掃活動に力を入れてはいるものの、ゴミの投棄が問題とのことでした。



(報告資料：上川水稲発祥之地記念碑)

お二人ともお疲れ様でした。